

## 平成 19 年度 精神看護学試験問題 解答

(20)  
(21)

\*平成 19 年度の試験問題は、平成 18 年度の試験問題の 11 と 24 の問題を変えただけで、その他は全て同じです。なので、詳しい解説は平成 18 年度を参考にさせていただければと思います。ここでは参照する教科書のページ数とレジュメのみを載せておきます。また、ここでいう教科書とは、1 年生の時に宮本先生の授業で使用した「精神看護学」という書籍です。

1. a) e)

レジュメ：統合失調症の診断と治療

2. b) c)

c)の両価性とは、人や物などの同一の対象に対して、相反する全く逆の感情が同時に存在することをいう。軽いものは正常者に認められるが著名なものは統合失調症に多い。

e)のパーソナリティ障害の分類は教科書 p 186～

3. b)

レジュメ：器質性精神障害の診断と治療

教科書：p 161～163

4. b) d)

5. b) c)

レジュメ：統合失調症<sup>の</sup>診断と治療

教科書：p 150～p 157

6. c) e)

教科書：p 154 思路の障害

7. b) d)

c)の体感幻覚とは皮膚感覚、深部感覚、期間感覚、平衡感覚などの領域の幻覚である。例えば「頭の中がネトネトしている」「脳がかたくなって石みたいになった」「脳が半分溶けている」など。

8. b) e)

レジュメ：気分障害に診断と治療

教科書：p 176～p 177

9. a) d)

レジュメ：気分障害に診断と治療

教科書：p 99

10. b) e)

レジュメ：てんかんの診断と治療